

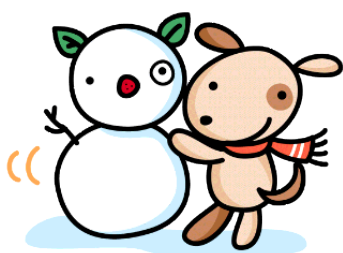
自ら考え動く冬休みに～がんばった後期前半～

今日で、後期前半が終わりました。今年も保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、事故なく大崎っ子と一緒に楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。後期前半では、子どもたちは、あいさつ運動やポカポカの木の実の取組を、心をこめて自ら行動することができるようになりました。



また、今まで以上にがんばったことがあります。それは、学習です。たくさん発表したり、丁寧にノートに書いたりといった授業態度がよくなりました。忘れ物が少なくなりました。自主学習をするなど家庭学習を工夫して取り組むようになりました。

来年も、この頑張りを継続させていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



人権～人権集会&ハートフル集会～

人権とは何だと思う？

人権とは人間らしく幸せに生きる権利のこと。

左の写真は、「わたしのいもうと」といういじめを題材にしている物語を読み語りしている写真です。いじめはいけないことだと、改めて感じた大崎っ子でした。私は、大崎分校で取り組んでいる「ポカポカの木」「あいさつ運動」と人権のかかわりについて話をしました。（「ポカポカの木」「あいさつ」は、相手を意識しているからできること。相手を意識するということは、相手を認めているということになる。相手に認められることは、喜びや幸せにつながります。）

「一人ではない」という安心感が大崎にはあります。この雰囲気これからずっと続けていけるようにしたいものです。



今年も「タンポポの会」の皆さんや「みほ&ゆうだい」さんに協力していただき、ハートフル集会を行うことができました。子どもたちはブラックシアターによる「はなさき山」や「まっくろネリノ」、読み語りの「ゆめねこ」「わたしのせいじゃない」そして「優しさにつつまれたなら」「懐中電灯」と言った歌で、優しさや強さを考えることができました。最後に、「大崎分校の雰囲気はいいですね。子ども達の笑顔がいいですね。」と話していただきました。

